

令和4年9月14日(水)第6校時

西中学校 2年2組 瀬上 拓教諭

「理科」動物の体のつくりと働き



この単元は、「動物の消化、吸収、血液循環、排出に関わる器官やそれらが組み合わさっている器官系、さらに感覚器官などが働くことによって、動物の生命活動を維持している」ことに気付かせるものでした。

実験では、だ液によるデンプンの変化を確かめるためにヨウ素溶液とベネジクト液の2種類の薬品を用いました。そして、だ液によってデンプンが変化し、食物が消化によって吸収されやすい物質に変化することを理解させるものでした。

また、タブレットを各テーブルに1台ずつ用意し、実験の手順等について確認できるようにするなど効果的に使用していました。

〔参観者（小学校教諭）の感想〕

- 個人、またグループ毎に実験器具を準備しておいたために、主体的に実験に取り組むことが出来ていました。そのことにより実験が身近なものとして捉えられていました。
- 実験準備がよくされており、活動がとてもスムーズでした。また、タブレットを効果的に使い、生徒が実験手順や試薬の反応などについてよく確認出来ていました。
- 実験の考察は、残念ながら次時になってしまいましたが、生徒がどのようなまとめをするのか、ものすごく気になりました。（楽しみです。）